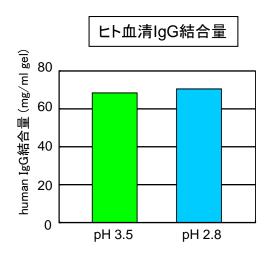
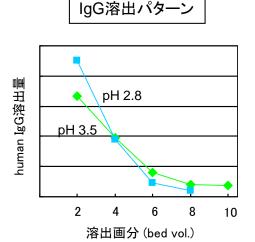


Ab-Capcher[™]を用いた ヒトIgG精製時の溶出条件検討

精製の流れ

40 mg/ml ヒト血清 γ グロブリン画分 (PBSに溶解) ↓ Ab-Capcherに添加(スピンカラム) ↓ 振とう(1時間) ↓ 洗浄 (PBS) ↓ 0.1 Mクエン酸buffer (pH 3.5) または 0.1 M Glycine-HCl (pH 2.8) にて溶出 ↓ 2 bed vol. 毎に分画 (1 M Tris を添加して中和)





ヒト血清 γ グロブリン画分(40 mg/ml)の 150 μ l をAb-Capcher 50 μ l と反応させたのちに、pH 3.5 または pH 2.8 の buffer で溶出し、2 bed vol 毎に分画・中和した。

Ab-Capcherに結合したヒトIgG の溶出は pH 3.5 では pH 2.8 に比べて遅れる傾向にあった。 プールしたところ、pH 3.5 溶出画分で68.4 mg/ml gel、pH 2.8 溶出の場合で70.5 mg/ml のヒトIgG を回収した。 すなわち、pH 3.5 の条件で pH 2.8 の97%に相当するIgGを回収することができた。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1 TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ http://protenova.com